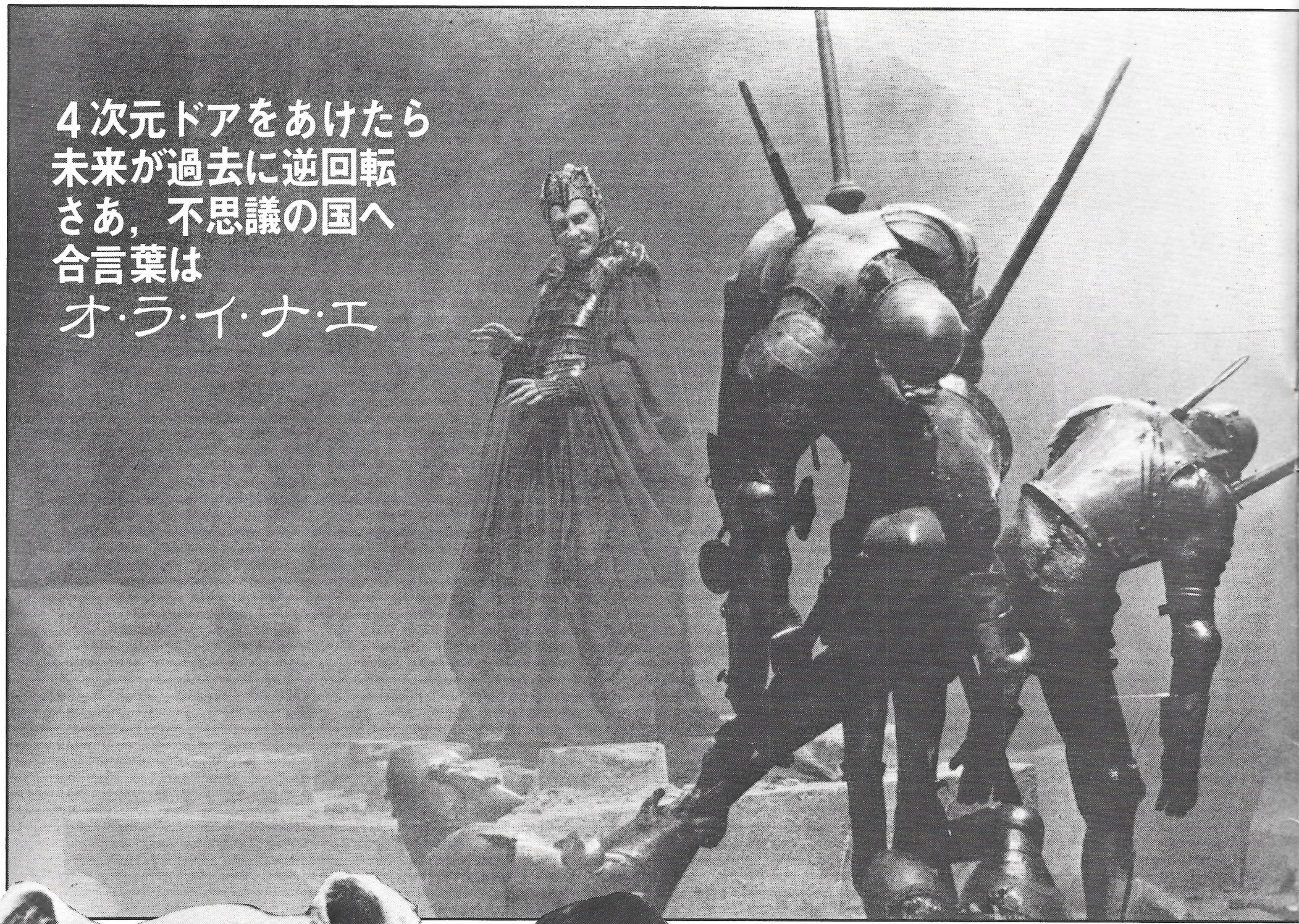

バンデットQ


4次元ドアをあけたら
未来が過去に逆回転
さあ，不思議の国へ
合言葉は
オ・ラ・イ・ナ・エ


TIME



ジョージ・ハリスン／製作・音楽

テリー・ギリアム／監督

ジョージ・ハリスン／主題歌「オ・ラ・イ・ナ・エ」
（ワーナー・パイオニア・レコード）

1981年度イギリス映画超特作

〈カラー作品〉

東宝東和提供 TOWA

バンデットQ

BANDITS





▲ある夜，ベッドに入ったケビンの前に，タンスをブチ破って白馬の騎士が出現，ケビンはもうボウゼン

◀次の夜，ケビンはカメラを手に白馬の騎士を待っていると，今度は奇妙な服を着た小人が６人あらわれた。

なんと，ケビンの部屋に▶４次元へぬけるタイム・ホールの扉があったのだ。



ケビンは，兵隊やギリシャの英雄，中世の騎士，インディアン，光る宇宙船のプラモデルを集めている11才の少年。もっかの関心事はギリシャ神話です。



解説

タテ・ヨコ・空間，そして時間が自由の世界＝４次元。そこに冒険，笑い，夢，興奮，感動……すべてをほうり込んで出来あがった〝４次元ファンタジー・ゾーン〟。観る者を一瞬にしてトリコにしてしまう映画がやってきた！

『バンデットＱ』は，独創的なファンタジーとウィット，そして見事なビジュアル・エフェクトでもって，映画の魅力がすべて爆発した映画であるといえる。

とある静かな住宅街に，両親といっしょに住んでいるひとりっ子の11歳になる少年が，ある夜突然，目の前に現われた６人の可愛いくて不思議な小人〝Ｑ〟たちと一緒に，過去のあらゆる時代をゴチャまぜに通り抜けていくという，奇想天外の大冒険旅行なのだ。この地上に不運にも存在する〈タイム・ホール〉の場所を示した地図を使って歴史の中のあちらこちらに飛び込んでいく少年とＱたちの前に，イタリア大遠征中のナポレオン，呪われた処女航海に出ていたタイタニック号，はたまた古代ギリシャの英雄アガメムノン，そして，Ｑたちが手にしている地図を奪わんとする悪魔が，それぞれ出現。映画ならではの好場面が次から次へと展開される，これは一大エンターテインメント。

極上のユーモアと奇抜なアイデア，そして，とてつもないパワーと想像力をうちに秘めたこの『バンデットＱ』は，はるか遠い昔の〈記憶〉をときには古典的なおとぎ話のように，またときにはゴシック的な恐怖話のように…というぐあいに，あらゆる手法を駆使して，いま，この現代の時代に甦えらせてしまった大胆きわまりない映画でもある。

少年とＱたちの７人のキャラクターは，たとえば黒澤明監督の「七人の侍」における侍たちの，またたとえばディズニー映画「白雪姫」における７人の小人たちの，それぞれ姿かたちを変えての新しい展開である，といえるだろう。この他，再三現われる〈タイム・ホール〉が，一見したところどこか「2001年宇宙の旅」に登場した石板を想起させる…というぐあいに，劇中で描かれる各時代のエピソードには，その時代を背景とした今日までのあらゆる無数の映画の〈映画的記憶〉が存在している。

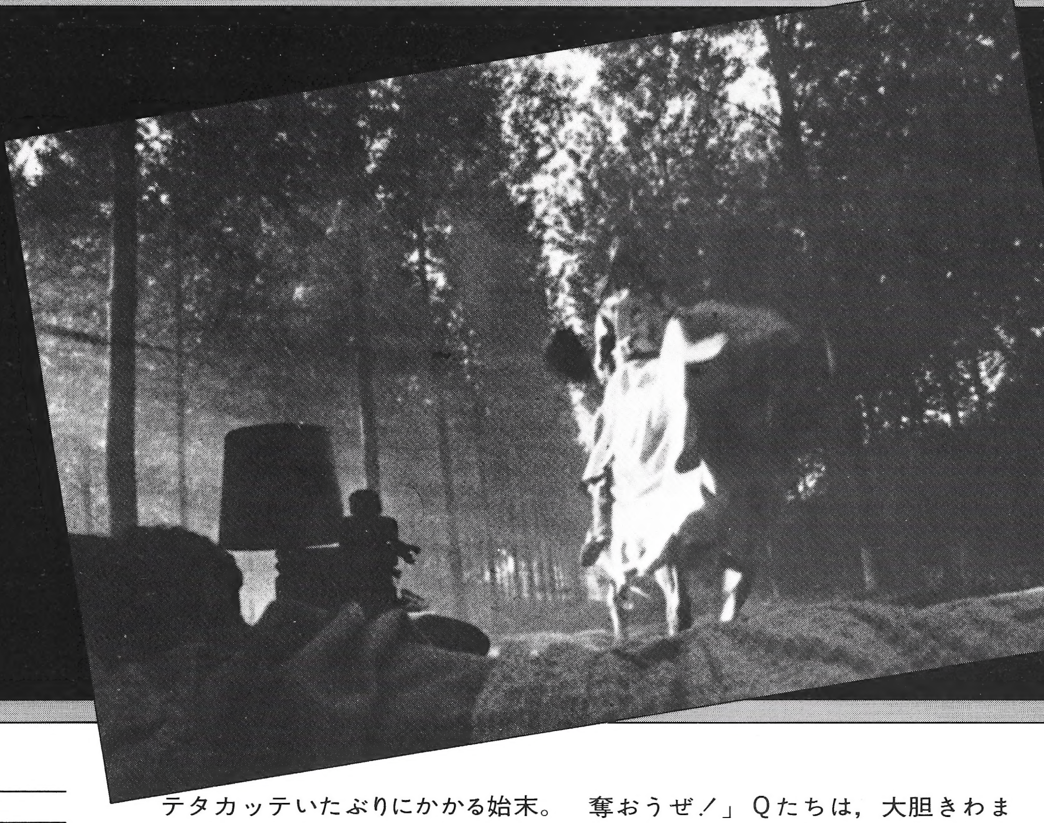
製作総指揮は，ビートルズのメンバーであったジョージ・ハリスン。彼は音楽も担当し，エンディング・タイトルで主題歌を唄っている。

監督は〝モンティ・パイソン〟シリーズでお馴じみのテリー・ギリアム。製作，脚本も担当している。現代イギリス映画界にあってドル箱的存在の有能なクリエイターである。

キャストは，ケビン少年にクレイグ・ワーノック，ナポレオンに「炎のランナー」のイアン・ホルム。そして，御存知ショーン・コネリーがトロイ戦争の英雄アガメムノンの他にもう一役で顔を出す。じつに多彩な顔ぶれである。

アメリカでバラエティ紙によれば，４週トップを独占の大ヒット記録，《バンデット・ブーム》を巻き起こしている。（上映時間１時間43分）





物語

■いざ出発！

静かな新興住宅地。11歳になるケビン少年は，この住宅街で両親ともども平凡な毎日を送っていた。ケビンのもっかの関心事はギリシャ神話。毎日，毎日，床につくのも惜しんでは，せっせと読みあさっていた。

ある夜，ケビン少年がベッドに入るやいなや，突如として馬にまたがった中世の騎士が，部屋の片すみに置いてあった洋服ダンスをブチ破って現われたかと思うと，そのまま，森の中へと駆けぬけていったのだった。ぼう然とするケビン少年……。ふと，われにかえると，部屋の中はまるで何事もなかったように静まりかえっているではないか。なんて不思議なことなんだろう。

翌晩，ケビン少年はポラロイドカメラと懐中電灯をしのばせて，床についた……。ガサガサ，ゴトゴト……今度は得体の知れない不思議な小人が６人，洋服ダンスの中から出てきた。バイキングのカブトをかぶっている者，第２次大戦中のパイロットがかぶっていた帽子を愛用している者…彼らのコスチュームは，どこか奇抜でうす汚ない。この突然の珍客に，ケビン少年はびっくり仰天。〝Q〞と呼ばれる彼らも，ケビン少年を見るやいなや，恐怖におののき，互いに抱きあわんばかりのアワてぶり。ところが，〝Q〞たちは相手が見知らぬ人間だと気がつくと，今度はヨッテタカッテいたぶりにかかる始末。〝Q〞たちのやることは，もうムチャクチャ。

突然，ベッド脇のカベがうしろへと動き出し，巨大なトンネルのようになった。Qたちはトンネル内に殺到。思わずケビン少年もポラロイドカメラ片手に走り出した。すると，そのうしろから巨大な顔が追っかけてきた。

「お前たち盗んだものを返せ！」巨大な顔のその声は，この地球の創造主である神様のものだった。Qたちは，この地に存在する〈タイム・ホール〉の場所を示した地図を，神様の手から奪ってきた盗賊だったのである。地図さえ持っていれば，どの時代にも自由に行くことができる。ケビン少年の部屋が，たまたま〈タイム・ホール〉が存在する一つの場所だったというわけである。ケビン少年とQたちの目の前に，スーッと〈タイム・ホール〉が出現。彼らは，その場所から姿を消した。

■ナポレオン登場！

ケビン少年たちは，1796年のカステリオーニの戦場の，その真っただ中にいたのである。「君たちは何者なんだ」，ケビン少年がきくと「俺たちは，国際的な盗賊だ」とQが答える。

その夜，７人が，焼き打ちにあったとある館へ来ると，人形劇を観ては笑いころげている時の名将ナポレオンがいる。「ナポレオンの身ぐるみ奪おうぜ！」Qたちは，大胆きわまりない作戦をくわだてた。Qたちは，さっそく舞台に躍り出て，歌に踊りにハッスル。チビ好きのナポレオンはたいそうご満悦。ついには，７人を食事に招待した。Qたちの計画は，着々と進行。ナポレオンにガブガブ酒を飲ませ，眠らせてしまうと，Qたちの掠奪が始まった。ようやく彼らの正体に気がついたナポレオンの部下たちが追いかけて来た。あわや！という瞬間，７人は姿を消した。

■シャーウッドの森

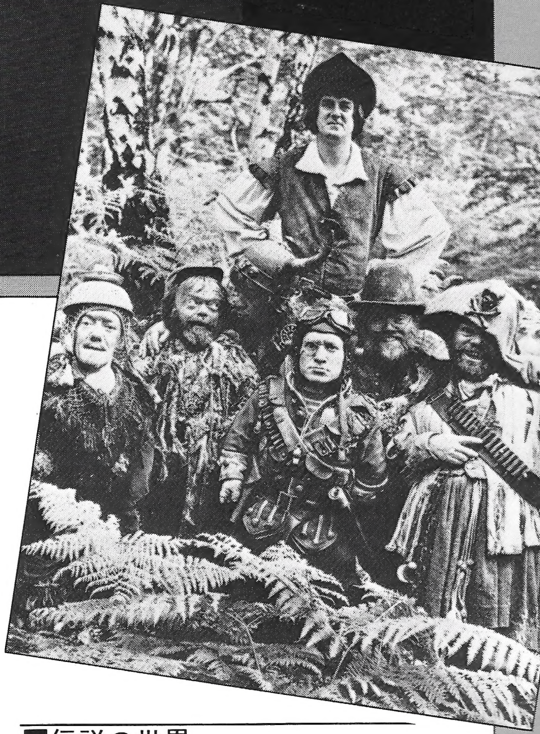
「ここからはさっきの時代より500年前だ！」

これからはこの地図が頼りだ。ケビンは，不思議そうな顔をして神様が作ったというその地図を見つめた。





「お前たち，盗んだものを返せ！」
それは地球の創造主，神様の声であった。



■悪魔のささやき

そんな７人たちを，はるか遠くのところから悪魔が見ていた。

「あの地図だ！　あれさえ手に入れれば，この地球の創造主になれる。神でさえも私にはかなわないのだ」悪魔は，声色を使い，Ｑたちをある場所におびき出そう，と策を練った。

■再びシャーウッドの森

「世界一の宝物が置いてあるところへ行こう」と一人のＱが言う。その声こそ。Ｑの声に似せた悪魔のささやきだったのだ。ところが，目の前に２つの〈タイム・ホール〉が現われたため，あせったケビン少年が左側の〈タイム・ホール〉に誤まって飛び込んでしまったのだ。

■ギリシャの英雄ご登場

大砂漠で２人の男が，壮烈な死闘をくり広げていた。勝敗の流れが，野獣の仮面をかぶった男のほうへかたむきかけた時だった。気を失い，あわや絶命！の危機におそわれたもう一人の男の上に，なんとケビン少年が落ちてきたのだった。男は命の恩人であるケビン少年を，屋敷へと連れて帰った。男の名はアガメムノン。古代ギリシャの英雄であり，王様である。

翌日，宴が始まった。奇妙な衣裳を身にまとった３人の大男が現われ，ケビン少年の前で踊り始めた。と突然，男たちは６つに別れたかと思うと，なかからあのＱたちが出現したではないか。ケビン少年は，もうビックリ。早速のこと，Ｑたちはケビン少年の手を取って，舞台へとまねき，例によってコツ然と姿を消してしまったのだ。

■タイタニック号

豪華客船の上に，またしてもかの７人が天から降ってきた。

その夜，デッキでシャンパンをのん気に飲みながらＱは，「地図を見ていて，発見した。たしかに，世界一の宝物がある。伝説の世界のむこう側にある暗黒の城の奥だ。これはスリルと冒険だぜ！」

突然，轟音が響き渡った……。７人が気がつくと，船は沈没したあとだった。氷の海に投げ出された７人。

■伝説の世界

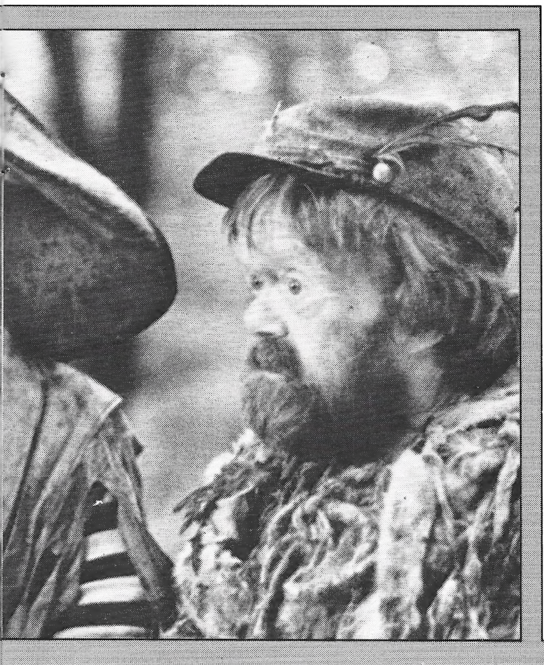
漂流中の７人の前に，巨大な帆船が近づいてきて，彼らは危ういところで助かった。

７人を乗せた帆船はいつしか巨大な海坊主の頭の上にあった。激しくゆれ動く帆船。海坊主は海から陸へと上がっていく。７人はなんとか脱出に成功した。

■暗黒の森，そして悪魔との戦い

突然，７人の目の前に，巨大で不気味な暗黒の城が姿を現わした。７人は，勇敢にも暗黒の城へと突き進んでいく。彼らの行手には，全知全能の悪魔が立ちはだかっている。悪魔とＱたちの壮烈な一騎打ちが，いままさに始まろうとしていた。

ケビン少年は，両親のもとに帰れるのだろうか！Ｑたちは宝物を手にすることができるか！悪魔は地図をまんまと手中に収めてしまうのか！そして，巨大な顔の神様はどうするのだろうか！奇想天外な冒険旅行は，いま最大のクライマックスを迎えようとしている！





▲巨大な神様の顔から逃げるQたちとケビンの前にタイム・ホールが出現，彼らはとある家畜小屋に落ちた。

そこは1796年のカステリオーニ▶の戦場だった。
「チビがなぐり合うショウをみせろ」「私がイタリアに来たのは，ここがチビの国だからだ。164センチ以上の人間は奇形だ」

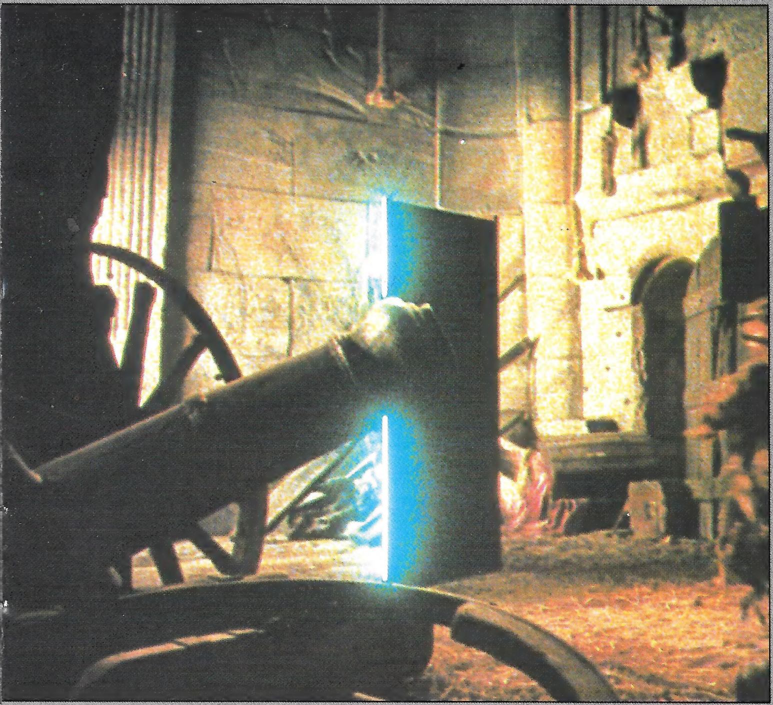






「ナポレオンの身ぐるみ奪って逃げるんだ，12時にタイム・ホールは消えるぞ早くしろ！」

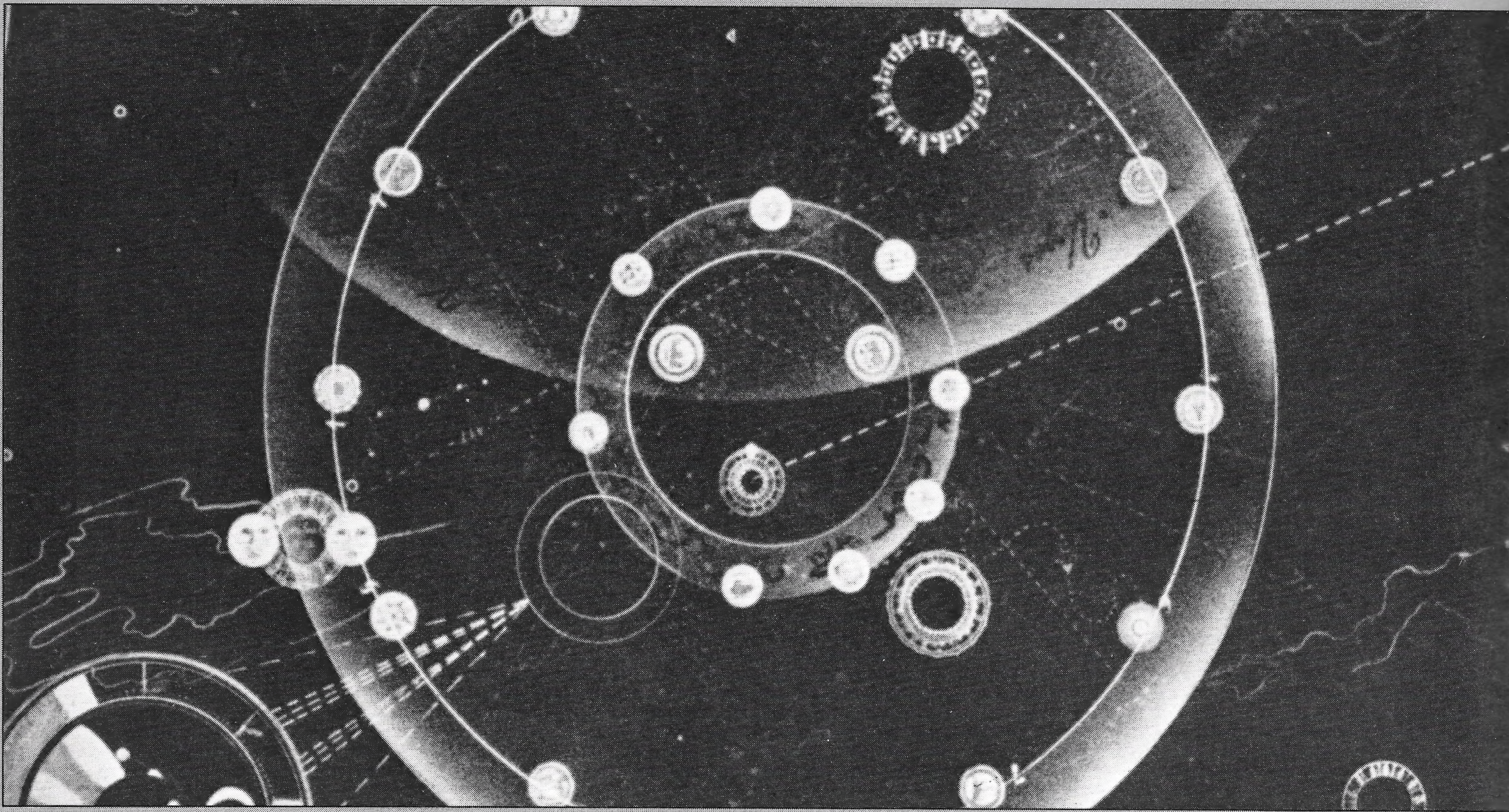




▲「タイム・ホールを示した神様の地図だ。地球はまちがいだらけ，なにしろわずか7日間で作られたしろものだからな」

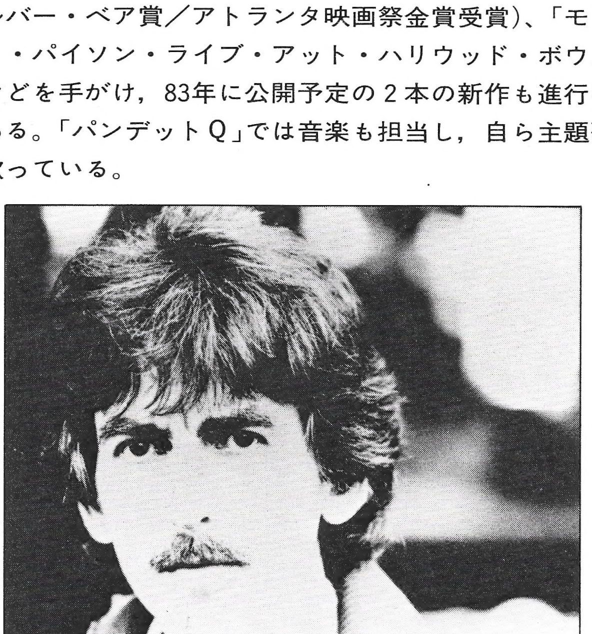
▲あぶなくなったら，タイム・ホールへそれっ！もう誰も追ってこられない。





■製作・音楽
ジョージ・ハリスン
GEORGE HARRISON

全世界を熱狂させ，今も世代を超えてヤングの崇拝を受けているビートルズのメンバー。1943年2月5日，イギリスのリバプール市に生まれる。13才からギターを習い始め，各グループを転々とし，60年ビートルズを結成。64年，音楽誌ビルボードのヒット・チャートで1位から5位まで独占の快挙を果たす。65年，大英帝国勲章（ＭＢＥ）を授与される。71年，ビートルズの衝撃的な解散。以後，単独プレイヤーとして活躍する一方。映画製作にも熱意を示し，「リトル・マルコム」（ベルリン映画祭シルバー・ベア賞／アトランタ映画祭金賞受賞)、「モンティ・パイソン・ライブ・アット・ハリウッド・ボウル」などを手がけ，83年に公開予定の2本の新作も進行中である。「バンデットQ」では音楽も担当し，自ら主題歌も歌っている。



■監督・脚本
テリー・ギリアム
TERRY GILLIAM

〝モンティ・パイソン〟シリーズの看板監督として（脚本も担当)，すでに有名。

1940年11月22日，ミネソタ州ミネアポリスに生まれる。

雑誌『マッド』を世に送り出したハーヴェイ・カーツマンの『ヘルプ』という雑誌をパロッた，カレッジ・マガジンを作ったことからカーツマンに認められ，まずは，彼の編集助手となった。この仕事で得たギャラを元手に撮影機材一式を買い込み，自主製作へと進んでいった。その後，渡英。グレアム・チャップマンと出会ったことから，ギリアムの人生は一大転機を迎えた。すなわち，チャップマン，そして彼の仲間たちージョン・クリーズ，エリック・アイドル，テリー・ジョーンズ，マイケル・パリンらーによる〝モンティ・パイソン〟シリーズの製作への参加である。

以後，〝モンティ・パイソン〟シリーズを中心とする創作活動の中でめきめきと力を上げていく。

また，「ジャバーウォッキー」(78)という，マイケル・パリン主演による映画を監督している。

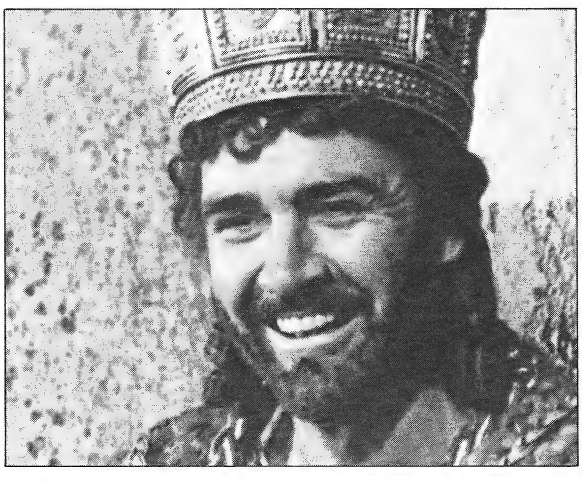


■アガメムノン王
ショーン・コネリー
SEAN CONNERY

古代ギリシャの英雄・アガメムノンの役は，どこか，ジョン・ヒューストン監督による「王になろうとした男」(76)の中のコネリー自身を想起させる。

1930年８月25日，スコットランドのエジンバラに生まれる。中学卒業後，炭鉱夫やドブ掘り人夫，トラック運転手などの職を転々とし，18歳で海軍に入る。除隊後，新聞社に入ったが，『南太平洋』の舞台に参加したのがきっかけで俳優となる。映画デビューは『帰り道なし』(56・英・未公開)。「007は殺しの番号」(62)で初代ジェームズ・ボンドを演じ，一躍，脚光を浴びる。

主な出演映画「史上最大の作戦」(62)「007／危機一発」(63)「マーニー」(64)「007／ゴールドフィンガー」(64)「007／サンダーボール作戦」(65)「赤いテント」(69)「未来惑星ザルドス」(73)「風とライオン」(75)「ロビンとマリアン」(76)「遠すぎた橋」(77)。



■ケビン少年
クレイグ・ワーノック
CRAIG WARNOCK

映画の中で，唯一，現実的なキャラクターであると同時に，作者の分身であるケビン少年を大熱演。

1970年２月22日生まれ。両親が演劇好きだったため，物ごころつかぬうちから舞台に出演。わずか３歳にして『ゼット・カー』という芝居で演劇界デビュー。

数多くのコマーシャルに出演する一方，ＢＢＣ放送のテレビ，ドラマや，ＡＴＶシリーズ〝Why Can't I Go Home〟などに出演。ナショナル劇場で上演された『マクベス』では，マクダフの息子役を演じ，好評を博した。今回が映画デビュー。今後，映画に数多く出演ししていきたい，と意欲を燃やしている。







タイム・ホールをまちがえたケビンは砂漠の中で死闘のまっさい中のふたりの男の上へおちた。











「君はアポロなのか？」
「私の城へこないか，君は命の恩人だ」
男はアガメムノン王であった。
「この子にミケーネの王位をつがせる」
勝利の宴に，人々は酔っていた。



クロのおしゃべりタイム・トラベル

最近，世の中暗いと思いませんか？ミニが流行ってくるという事は殿方にとっちゃ喜ばしき情況かも知れないけれど，これ，ある意味じゃ不況のシンボル。それに新聞広げるたびにヤなニュースばっかり。〝異常教師〟〝校内暴力〟〝中学生売春〟etc。こういう恐しい見出しがほとんど毎日，三面記事をにぎわしているんだから，世の中どうなっちゃったのかと考えている時に，一つの答えを出してくれたのがこの〝バンデッドQ〟。

神様が急いで世界を造ってしまったものだから，アチコチにボロが出てしまって。つまり来るべき時が来りに超現実的だけど，いいの。アタシはそういうロマンのある考え方って好きなんだから。ひずみはひどいもんだけど，この映画は何たって好みのタイプ。笑ったものネ。ドタバタコメディとも違うし，ソフィスティケイトされたクスクスってのとも違う。かと言ってオチのある落語的なものでもないし。要するに，早い話が，アハハ…なんですヨ。監督は〝モンティ・パイソン〟シリーズでお馴じみのテリー・ギリアム。今迄のあのシリーズ，あんまりイギリス的過ぎていくらあちらじゃ大人気のテレビ番組だと言っても，日本に来だっていう点。時間とか空間を全く無視しているから，ナポレオンは出てくる，タイタニック号のあの事故に遭遇するは，紀元前の伝統的な英雄に可愛がられるはのムチャクチャ破格のリズム感。例えばケビン君がガウンを着て，ポラロイドカメラをパチンパチンやってても，過去の歴史上の人物達は全く無視。疑問も持たず驚かず…なんだから支離滅裂で大好き。

いいところその２。ケビン少年の度胸の良さ。Ｅ．Ｔ．のエリオット君もそうだった様に，ちっとも軟弱じゃない。好奇心のかたまりというか、小さい体に愛する心をドカンと持っているのですヨ。いきなり自分の洋服ダンスから異様なものが飛び出して来たって，ワーワーキャーキャー騒ぐどころか，今度こそはとちゃんと仕度してスタンバッているんだから。奇妙な小人達に出逢っても，いじめたりなんて事皆無。やさしさに溢れているとってもいい坊や。その割には親達のつまらなさが目立ってたりして…ネ。

いい所その３。タイム・ホールのお話は今迄結構あったけど，ホール



たとかというそのムクイ現象じゃないかって事。だって諸々(モロモロ)事件のレポートをやってると，全部狂っているんだもの。校長先生は「家庭の躾がなってないから」ＰＴＡはと言うと「学校教育がいい加減だ」本人達ときたら「オマエラニャー，関係ネーダロガ！」，こればっかり。人のせいにする大人も大人だけど，ツッパリ君達も，あれじゃ……。要するに総てのタガがずれている訳ですヨ。

秩序もへったくれもないって事は，少々，ロマンチックな見方をすると，さっきも言った様に創造主がこの複雑な世の中を，一週間でつくってしまったからサ，なんて，あまるというとごく一部のファンを除いて，今ひとつおかしさに乗り切れない所があったりで，爆発的大ヒットとはいかなかった訳。ハイ，アタシも何でまわりが笑うのか，よくわからずにニガ笑いしていた口(クチ)でした。でも，これは平気。立派にちゃんと大口開けてアッハハやってられたし，楽しかったといったらない。私好みのアメリカ的ユーモアだから，アメリカで一昨年公開されて大ヒットのロングラン。しかも去年のクリスマスにはまたまたリバイバルでもどって来て，なんて事を繰り返しているのもうなずける。

まずいいのは，実に調子っぱずれ



■襟川クロ〈フリー・パーソナリティ〉

（丸い穴）なのに四角い自動ドアみたいのが青空の真中やら，ステージの上やら，いろんな所にあるのがメチャクチャで，常識とか道理なんてない世界。出たり入ったりの特撮も素晴しく出来てるし，出入りする時ケガしないんだもの。超えてるネ。

いい所その４。これが一番大事でして，主人公達の小人Qが大好き。中の一人にR２―D２のケニー・ベイカー氏がいるそうだけど，こういう体の不自由な役者さん達が主役の映画って，日本だったら撮るの大騒ぎ。変な偏見とか憐みの目を持っている人達が結構うるさく言ったりするから，〝典子は今〟という映画を撮った時にも大変だったんだもの。社会問題になったり…アタシなんか典子チャンが一生懸命お化粧したり，泳いだりしている姿を見て，サワヤカ涙を流した一人。うれしい事に，素直に見てた人が多かったから，あの映画は愛されたけど…。同じ人間なんだし，ナナメに考えたりする人の方が根暗い，イヤラシイ。ハンディをハンディと知っていて，一生懸命明るく生きているんだから，憐むなんておかしいヨ。皆，健全なんだね。これ作った人達って。彼達にこれからいろんな映画に出て欲しいと思うのは欲張りかな？個性あるもの。ドンドンヤレ！ヤレ！

その他，ジョージ・ハリスンの主題歌も愉快マカ不思議なオリジナリティ。この映画にピッタリコン。オライナエって何だ？オラシラナイヨ。ちょうど〝ビートルズがやって来る，ヤーヤーヤー〟がリバイバル公開されてるから，彼の若かりし頃の姿が見たかったらどうぞ。アタシにとってビートルズは英語の先生みたいなもの。余計な事だけど，やさしい単語でできてる初期の大ヒット曲がいっぱい，訳詞つき見られるから，勉強にもなるし。オバサンにゃ懐しいし。

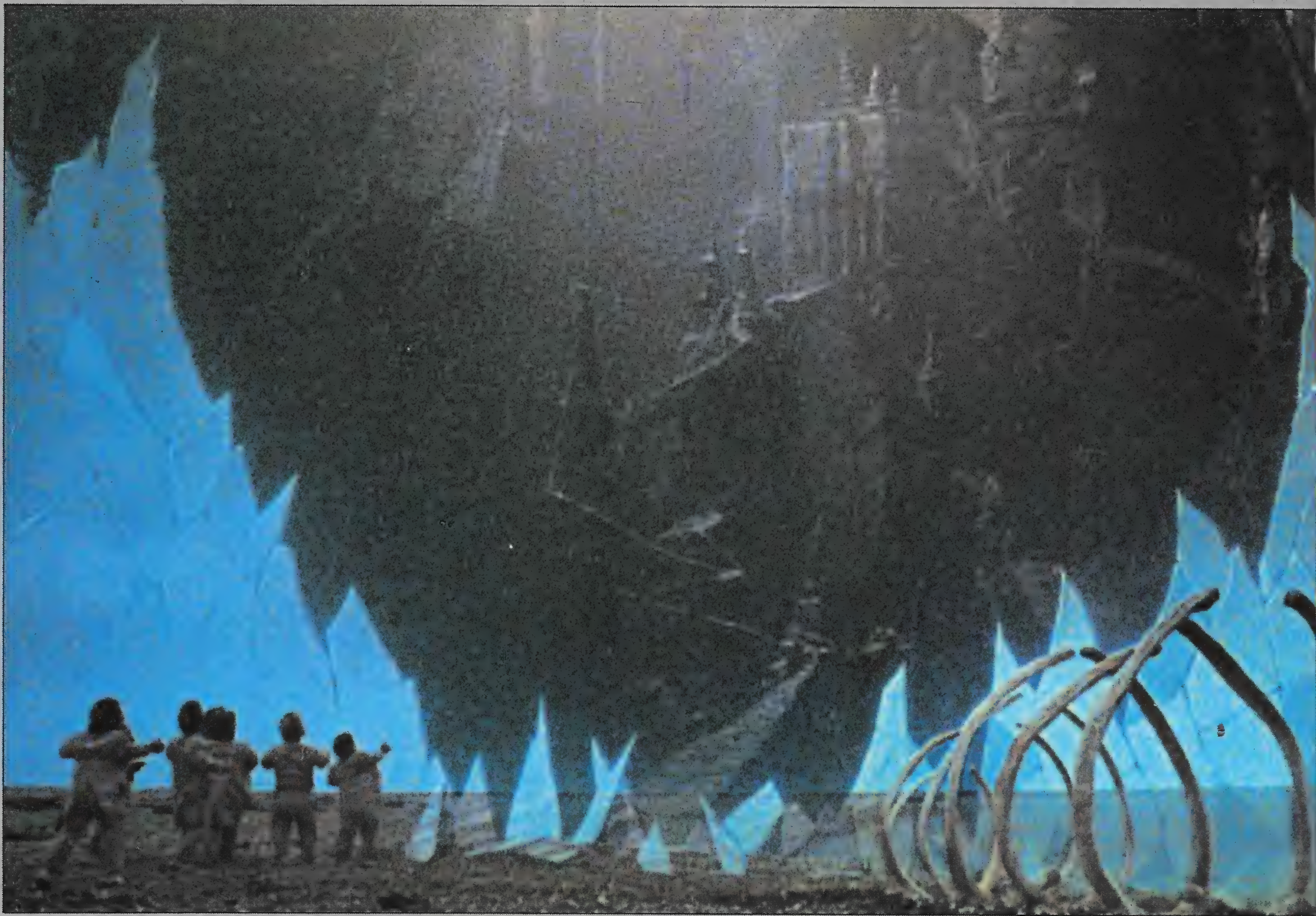
夢がいっぱいでやりたい事をどんどんやってくれる空想おとぎ話風SFアドベンチャー。それが，おっかしくって，ちょっぴり皮肉っぽくて，素直で，豪華につくってあるのだから言う事なし。アタシなんか続けて二度も見ちゃったもんネ。

でも，最後の最後になって，現実にもどった時の恐しさ。ガーン，ショッキングな姿！あれを見てしまうと，これは夢と笑いの映画じゃなく，社会派問題作？などと思ってしまうのは病気？





それで，アタシ考えました。今度，製作のジョージ・ハリスン氏に頼んで二部をつくってもらいます。そして，その時こそ〝悪魔のかたまり″を燃やしてもらうつもりです。そうしたら今起こっている現実のくら一い事件もなくなる筈だし。いいアイディアだと思いません？なんならアタシ，ケビン君にかわって小人達と一緒にタイム・トラベルしてもいいんだけどな。カメラとデンスケかついで取材しながら，悪魔を誘惑するの，それで……ダメかな――。



▲７人の行く手をさえぎる透明のカベを破ると，そこは〈暗黒の城〉だった。悪魔の住むこの城の奥に世界一の宝物がある。





７人をのせた帆船は，いつしか巨大な海坊主の頭の上にあった。





◀オグルの残していった薬品の中からねむり薬を出すと，それをポンプで海坊主の頭に注射した。すると彼はねむりこけてしまった。



◀7人はまんまと脱出に成功。

こういう映画を、のたうつおもしろさといい

『バンデットQ』はなんたってアタシ好みである。立派にＳＦしてるし，狂っているし，調子がいい点においては頭の毛が薄くなった新首相もかなわない。とにかく思想が野放しなのがいいのだ。

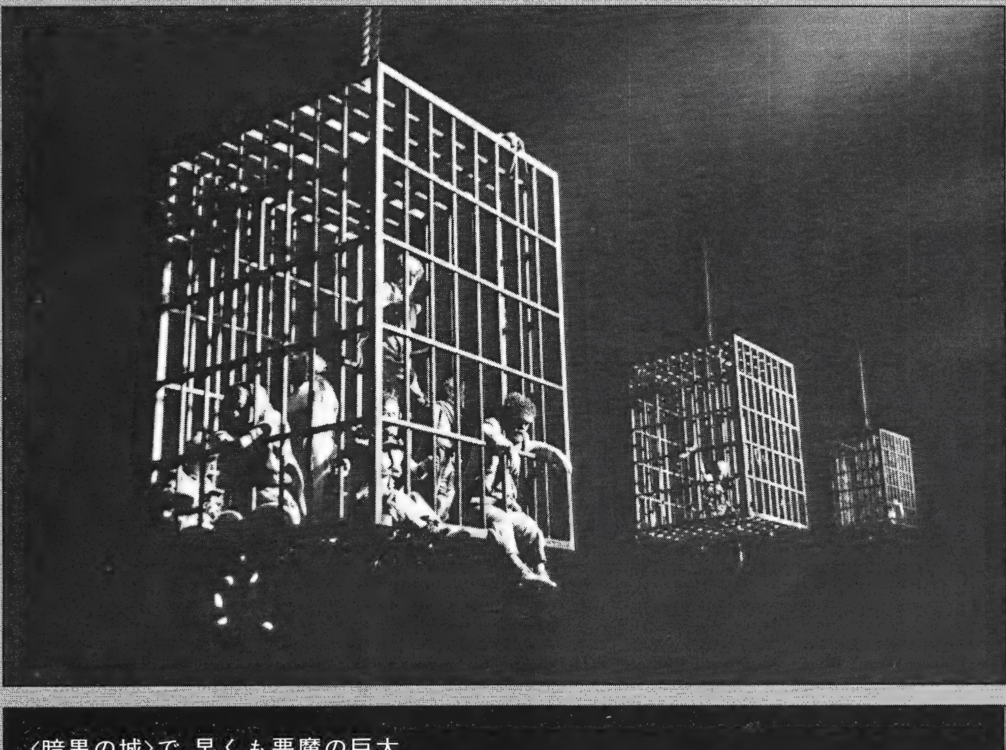
この映画がアメリカ公開されたのは1981年の11月。ムロン，大ヒットしてクリスマス興行に割り込んだ。ミニ・メジャーのアブコ・エムバシー映画社がイギリスから買い付けて配給したのだが，これがアブコ最大の配収をマークしたのである。ばかりか，1982年のクリスマスにはドードーとリバイバルで帰って来た。

これはとっても意義深いことなのだった。

なんたって最近のクリスマス興行はアカデミー賞を意識して地味化の傾向をたどり，『スーパーマン』よりは『ガンジー』，『スタトレ』よりは『評決』といったぐあいに，チマタのほろ酔い気分とはウラハラの映画ばかりが公開される仕組みになっている。――飲酒運転が激増するこの季節に酔い醒まし映画で世の中を平和に導かんとする，こいつは政府の陰謀ではないかとアタシは考えるね，実際。そんなわけだから青少年向け無邪気映画は，安定した商売が見込めるディズニーのクラシック・アニメのリバイバルにかぎると相場がきまっていた。が，ちょっとこれはイタイケ過ぎた。チョイまえ，1980年のクリスマスごろからリバイバルのラインナップに『スターウォーズ』が加わり，じつにそれなりに活気が出てきた。で，1982年のクリスマスには夏から続映中の『E・T』に『スター・ウォーズ／帝国の逆襲』とこの『バンデットQ』がみごと返り咲き，酔い醒まし映画と好戦したのである。

つまり『バンデットQ』は，もう『スター・ウォーズ』なみの偉大な古典だというわけなのさ。





〈暗黒の城〉で，早くも悪魔の巨大な〝ねずみ捕り〟にかかった７人。

イギリスの公営住宅に電化製品の夢にとりつかれた両親と暮らしている11才の少年が，混乱したタイム・トラベルのガイド役をつとめる。ま，いってしまえば，恐怖心よりも好奇心の方がまさっている少年のお手本みたいな彼が，６人の小人たちとの時空を超えた珍道中に参加して，けっこうアタシたちの感情移入に協力してくれるというわけである。

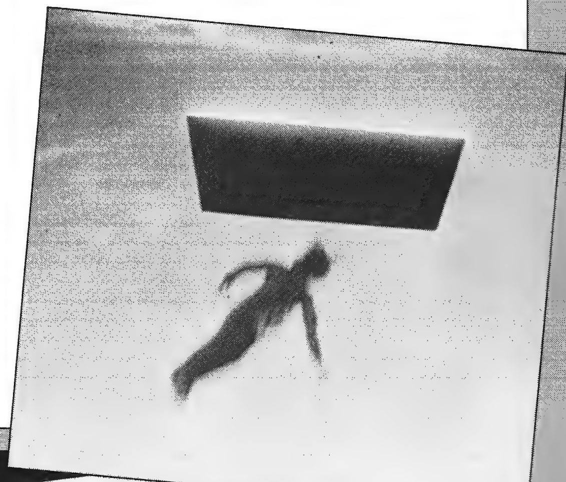
それにしても時空にぽっかり開いたタイム・ホールという，ＳＦではすっかりお馴染みの手を使いながら，ナポレオンを酔いつぶし，彼の金銀財宝を奪い取って，ギリシャの戦士を詐欺にかけたあげく，カウボーイと円卓の騎士とスペース・ファ

ます。

■中子真治〈映画評論家〉



ところでもうひとつ，アタシはなんたってクルクル動き回る６人の小人が好きである。中にはＲ２—Ｄ２を演ったケニー・ベイカーもいるけど，やっぱりこの映画のように素顔で出るにかぎる。彼らのキャラクターは笑顔のショーン・コネリーくらい魅力的なのである。だいいち，小人や身体障害者をスタントのクレジットに追いやり，じつは宇宙人のヌイグルミをかぶせて涙を誘わせた『Ｅ・Ｔ』よりも，よっぽど健全だと思うのはアタシだけでしょうか。

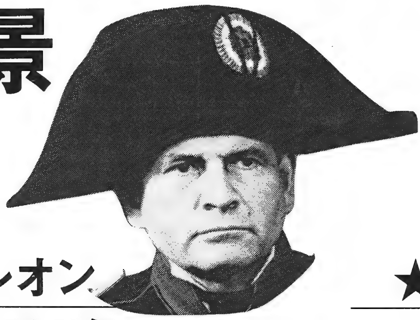


イターの援軍で悪魔にケンカを売るなんて，「しまいにゃオコルよ」といいたくなるくらいメチャクチャ映画していると思うのであります。ＳＦのツボをしっかり押さえ，ゴシック・ホラーのおどろおどろしさとフェリー・テールの夢みごころをまぶし，不遜なユーモアと鮮かなＳＦＸ（特殊効果）でもみほぐしたこの映画は，くすぐられる程度のおかしさではないのである。面白さがのたうっているのだ。

誰がなんといおうと，クライマックス。破天荒なイマジネーションがちゃんと映像になってしまうと，映画は力づくで「興奮せよ」と迫ってくるのさ。



登場する歴史的背景



★タイタニック号

1912年

イギリスが世界に誇った４万6000トンの豪華客船。同年４月14日，ニューヨークに向けて北大西洋上を処女航海中，氷山と衝突し，わずか２時間余で海中に没した。

★ナポレオン

1769年—1821年

1796年３月，時のフランス総裁政府により，イタリア遠征軍司令官に任命される。その直後，ジョセフィーヌと結婚。映画では，このイタリア時代が皮肉たっぷりに描かれる。

★アガメムノン王

紀元前1400年

ホメロスによる『英雄叙事詩』で謳われる古代ギリシャの伝統的な英雄で，ミケーネ文明をおさめた人物。映画にも登場する〝王城の獅子門〟〝牛跳びの壁画〟は王様の居城にふさわしい美術品として，いまなお人々の目を魅きつけている。





■スタッフ

製作総指揮	ジョージ・ハリスン デニス・オブライエン
監督・脚本	テリー・ギリアム
撮影	ピーター・ビジュー
美術	ノーマン・ガーウッド
衣裳	ジム・アチスン
特殊効果	ジョン・バンカー
音楽	ジョージ・ハリスン
主題歌「オ・ラ・イ・ナ・エ」	ジョージ・ハリスン （ワーナー・パイオニア・レコード）

■キャスト

アガメムノン王	ショーン・コネリー
ケビン少年	グレイグ・ワーノック
パンジー	シェリー・デュバル
ナポレオン	イアン・ホルム
悪魔	デビッド・ワーナー
創造主	ラルフ・リチャードソン
６人の不思議な仲間たちＱ	デビッド・ラパポート ケニー・ベイカー他４人

■MAIN UNIT

Executive Producers	GEORGE HARRISON DENIS O'BRIEN
Director and Screenplay	TERRY GILLIAM
Director of Photography	PETER BIZIOU
Art Director	NORMAN GARWOOD
Costume Designer	JIM ACHESON
Special FX Supervisor	JOHN BUNKER
Music	GEORGE HARRISON
Song by	GEORGE HARRISON

■CAST

King Agamemnon	SEAN CONNERY
Kevin	CRAIG WARNOCK
Pansy	SHELLEY DUVALL
Napoleon	IAN HOLM
Evil Cenius	DAVID WARNER
Supreme Being	RALPH RICHARDSON
Qs	DAVID RAPPAPORT KENNY BAKER and Four Collaborators

Ｑの味方の兵士の攻撃も，全知全能の悪魔には，子供の遊び。Ｑのひとりはブタに変えられ，事態は絶望的になっていった。









その時，とつぜん神様が出現して言った。「悪魔のしわざは全部，この私が自分の能力をちょっとためしてみただけのことさ」



6つのQがあつまれば――

秘密の合言葉は

希望のQ

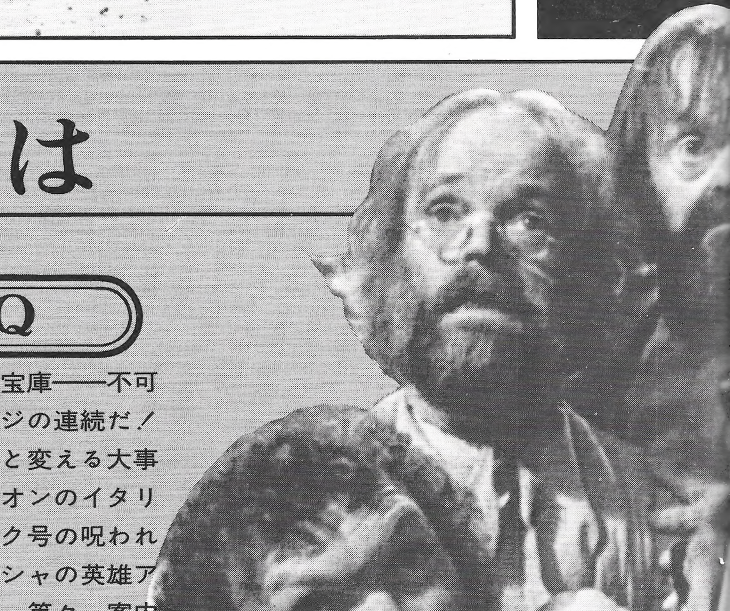
根暗族主流の世の中。何か明るく楽しいものはないものか？現在・過去・未来――希望に満ちてバリバリやろうよ！創造主の召使いなんてコリゴリだと飛び出した可愛い仲間〝Q〟。笑いタップリ，感動ズーンとぼくたちに体験させてくれるのは希望のQ。

夢のQ

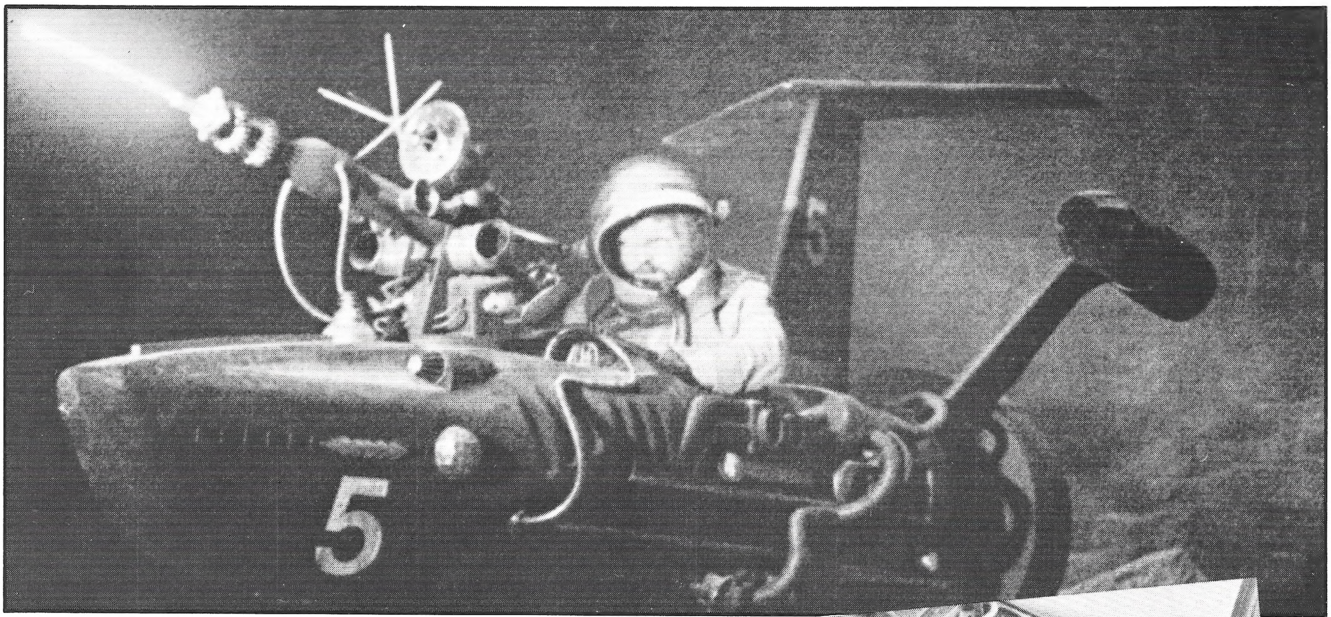
今年はどんな初夢を見ましたか？大金持ちになった，憧れのスターと大恋愛，志望校に合格，豪華な世界一周旅行…ここで自信をもってあなたに贈るワンダフル・ドリーム。スケールでっかく，夢を映像に！時間が自由で思いのまま，４次元の世界へ連れていくのは夢のQ。

冒険のQ

歴史は「冒険心」の宝庫――不可能なことへのチャレンジの連続だ！世の中の流れをガラッと変える大事件がいっぱい。ナポレオンのイタリア大遠征，タイタニック号の呪われた処女航海，古代ギリシャの英雄アガメムノンの王国争い…等々，案内するのは冒険のQ。

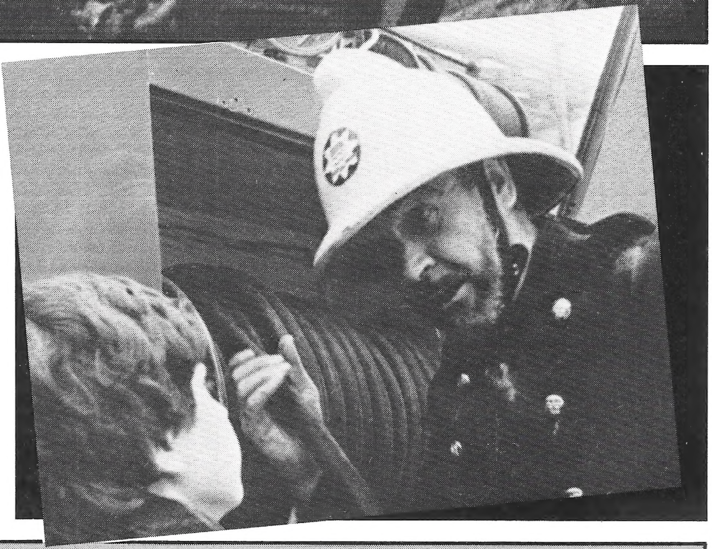


もう僕らは4次元ファンタジー。



キミだけにソット教えよう——
秘密の合言葉「オ・ラ・イ・ナ・エ」

Oh・Ry・In・Eye・Ay——オ・ラ・イ・ナ・エ。ひとりぼっちで寂しい時。哀しいことがあった時。ムシャクシャした時。はたまた何もすることがないヒマな時。声を出して，オ・ラ・イ・ナ・エ。とっても不思議な合言葉。思いをこめて，オ・ラ・イ・ナ・エ。キミの大好きな友達にも教えよう。楽しくみんなで，オ・ラ・イ・ナ・エ。そしたらキミはもう笑いっぱなし。オ・ラ・イ・ナ・エ，3度言ったら，夢の国。今日から，キミもオ・ラ・イ・ナ・エ。





オ・ラ・イ・ナ・エ

ロマンのQ

憧れのロマン・ファンタジー。女の子はトロッとし，男の子はヤル気ムンムンのガンバルマンに変身。想像力が増幅され，大型スクリーンに映し出されるビジュアル・エフェクトが絶賛のでき。アッと驚く《4次元ファンタジー・ゾーン》へ導くロマンのQ。

幸福のQ

今や無いものはナイ！物質文化全盛の20世紀。コンピューターでもお金でも手に入らないもの—それが幸福。ケビン少年が求めたのは，4次元ゾーンで見つかったのか？青い鳥だったのか？ボクたちもいっしょに探そう！助けてくれるのは幸福のQ。

愛のQ

親子，兄弟，恋人，友人への人間愛。山，空，海への大自然愛。愛する心があれば，愛される心もある。ケビン少年と6人の仲間Qたちに芽生える友情愛。この7人VS.悪魔の壮絶な戦いがまさに始まらんとしている。愛があれば勝利への道が開けるのか？教えてくれるのが愛のQ。

昭和58年3月4日印刷
昭和58年3月5日発行 ©
発行所　東京都千代田区有楽町1—2—1　東宝・出版事業室
発行者　東京都千代田区有楽町1—2—1　大橋雄吉
発行権者　東京都中央区銀座2—6—4　プレイガイドビル内　株式会社　東和プロモーション
印刷所　東京都港区芝2—1—28　成旺印刷株式会社
定価　300円



TIME BANDITS

